

明治31年（1898）

市町村立学校に学校医を置く（4・1）

物価騰貴で全国的に国民の生活困窮。

学校伝染病予防及び消毒方法の公布（9・28）

明治32年（1899）

神武天皇御銅像（軍人記念碑上に安置）の除幕（3）

市町村立小学校教員の服装改正（5）

視学官、視学、郡視学を設置（6）

教科用図書検定規則を改正（11・10）

明治33年（1900）

教員免許令を公布（3）

「治安警察法」公布（3・9）

感化法公布（感化院を設置）（3・10）

文部省内に修身教科書調査委員会を設置（4）

北清事変（8・14）

「小学校令」を改正（尋常小学校4年に統一。

高等小学校は2年・3年・4年の3種）（8・20）

暴風雨のため臨時休業（9・28）

「鉄道唱歌」が大流行

「作文」を「綴方」と改

称する。

明治34年（1901）

福沢諭吉死す（2・3）

八幡製鉄操業開始（2・5）

学校前の土地3反8畝余を購入。運動場の拡張と校舎増築。

教科書事件頻発。

明治35年（1902）

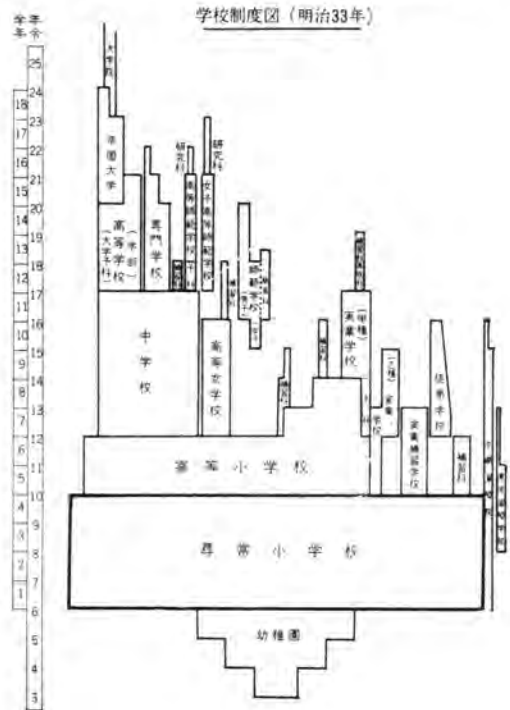
校門を新築する（1・26）

4ヶ年高等科併置（4）

卓球の紹介 坪井玄道（6）

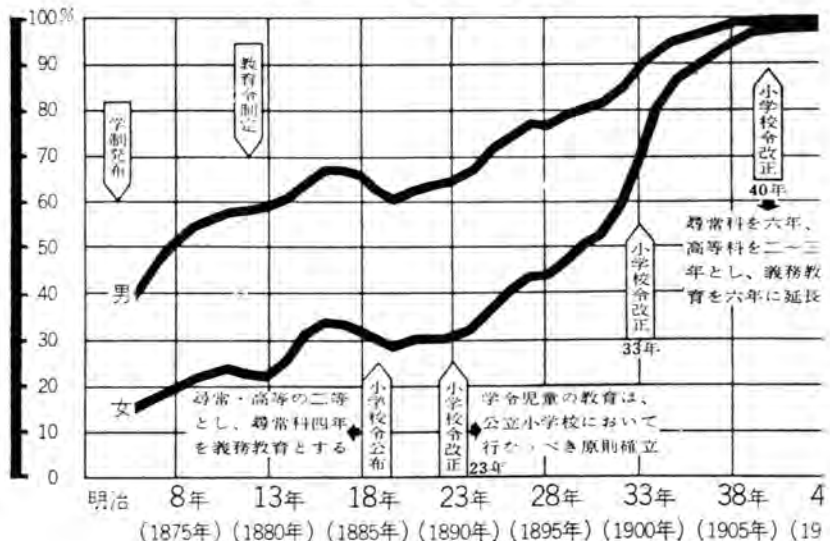
自転車の普及著しい。

固まった教育制度



学校体系図

義務教育就学率の推移（明治）



本校の明治後期における「校長」の名称の変遷



愛知県における「校長」の名称 (小学校)

明治15年	4名
18年	8名
21年	143名 (643校中)
23年	「小学校令」により校長の職責明確化、教授も担当する。
25年	52名 (多学級学校に)
27年	103名
33年	「小学校令」により全学校に。

明治31年までは、「首席訓導」と言われていた。

明治32年には昇格されて「学校長」になった。

明治後期の学業成績簿



氏名		住所		入学者		退学者		転入者		転出者		備考	
花田	宗吉	花田字	宗吉	明治三十九年	明治三十九年								
花田	宗吉	花田字	宗吉	明治三十九年	明治三十九年								
花田	宗吉	花田字	宗吉	明治三十九年	明治三十九年								

氏名		住所		入学者		退学者		転入者		転出者		備考	
花田	宗吉	花田字	宗吉	明治三十九年	明治三十九年								
花田	宗吉	花田字	宗吉	明治三十九年	明治三十九年								
花田	宗吉	花田字	宗吉	明治三十九年	明治三十九年								

学籍簿の記入事項が児童の通知表へ転記される。学籍簿は重要書類で永久に保存する。

学期ごとに「十段階」評価をして、年度末には「甲乙丙丁」評価で学籍簿へ記入された。

明治中後期の教科書・読み物



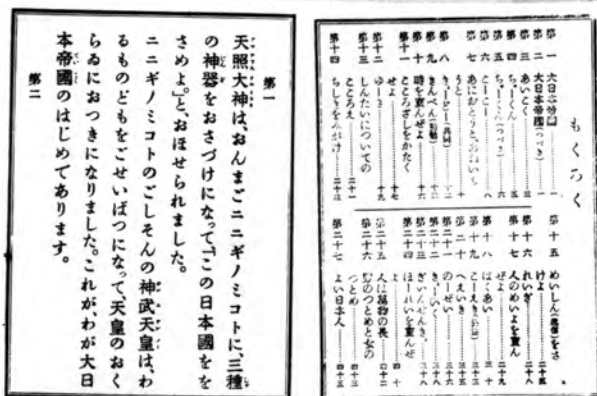
検定教科書「尋常国語読本」(明33)



国定教科書「尋常小学読本」第1期は明治37年から使用、単語にはいる前にかな文字から入っている。黒表紙。



国定教科書「尋常小学算術書」これは教師用の教科書で、当時は1学年から4学年まで生徒用はなかった。(明治38年使用)



国定教科書「尋常小学修身書」人物主義と徳目主義を合わせ、両者の長所をとって編集されていた。(明治37年)

明治40年代

(1907⇒1912)

「ポンチ絵」は、江戸末期、西洋からはいつてきた、おとな向けの漫画で、明治40年代には、こども向けの「ポンチ絵」も生まれた。



「教育画本・大ポンチ」明治40年代 作者不明 こども向けにつくられた漫画のはじまり。

「教育画本・大ポンチ」



(明36)



(明40・12月号)



(明40・9月号)



(明36・8)

明治36年(1903)

小学校、国定教科書制度成立(4・29)

度量衡施行令公布(9)

明治37年(1904)

露国に宣戦布告(2・10)

一期国定教科書使用開始(4)(修身・読本・
日本歴史・地理)

校舎増築中止の為 二部教授をする(6・6)

赤痢発生 校内消毒(7・9)

愛国婦人会創立(9)

明治38年(1905)

旅順陥落(1・1)

日本海海戦(5・27)

「日本の少女」創刊(6) 「日本少年」創刊ポ
ーツマス日露講和条約成立(9・5)

豊橋・東雲座で講和反対町民大会(9)

「戦友」歌われる。

明治39年(1906)

豊橋町、花田・豊岡の二村を合併して市制を施
行する(7月16日合併, 8月1日市制施行)

豊橋市となる(日本国内で62番目の市)

明治40年(1907)

「小学校令」を改正, 尋常科を6年とし, これ
を義務教育とする。高等小学校は2~3年とす
る。(3・21)(41・4実施)

市制実施により, 豊橋市花田尋常高等小学校と
改称する(3)

開校式, 八町練兵所での豊橋市各校連合の開校
式に参列する(3・21)

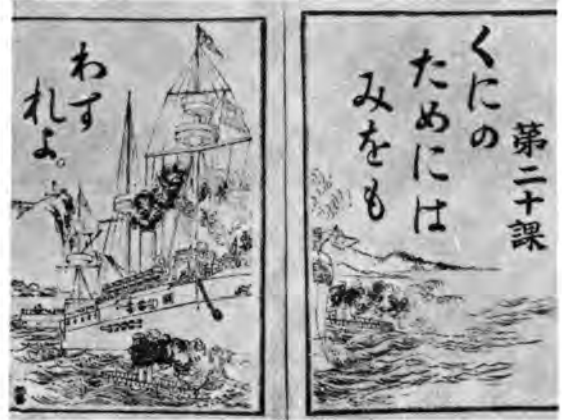
豊橋市教育会創立(6・15)

水練会, 八町高等小学校で行なう(7・26~8
・20, 95名参加)

第15師団を高師村に設置(9)

朝会体操, 授業前5分一斉に行なう(10・14)

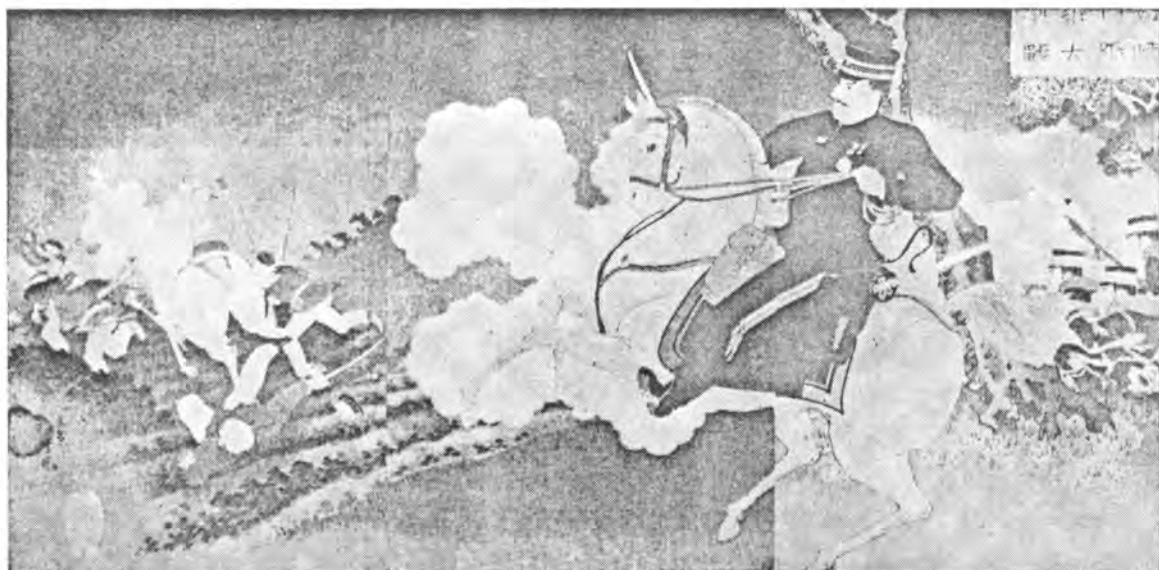
日清・日露戦争時代の 忠君愛国教育



「小学修身経」巻一(明治29年)



「国語習字帖」巻四(明治33年)



日清戦争（旅順大戦）



学習ノートの表紙まで軍国色を高めた（明治37年）



唱歌の中で盛んに軍歌が唱われた



「日露陸海軍人画解」から当時の軍人のようすがうかがわれる。

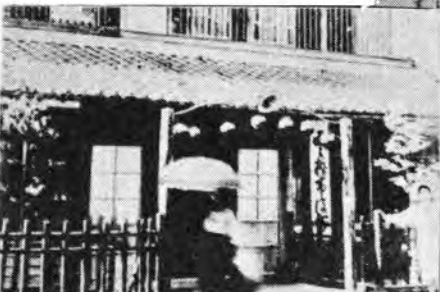
豊橋町 (市) ・花田村

祝市制施行

豊橋町は、明治三十九年八月一日、市制を施行し、豊橋市と改称された。この日は、市民が祝賀の意をこめて祝賀の行事を行った。...

市制の施行は、市民生活の向上と行政の効率化に大きく寄与した。市役所は、市民の要望に応え、様々な施策を実施して市民生活の向上を図った。...

市制施行当時の豊橋市役所 (明治39年)



市制施行当時の豊橋市役所
(明治39年)

市制施行を祝う (明39・8・1「新朝報」)



明治末期の豊橋市街地図



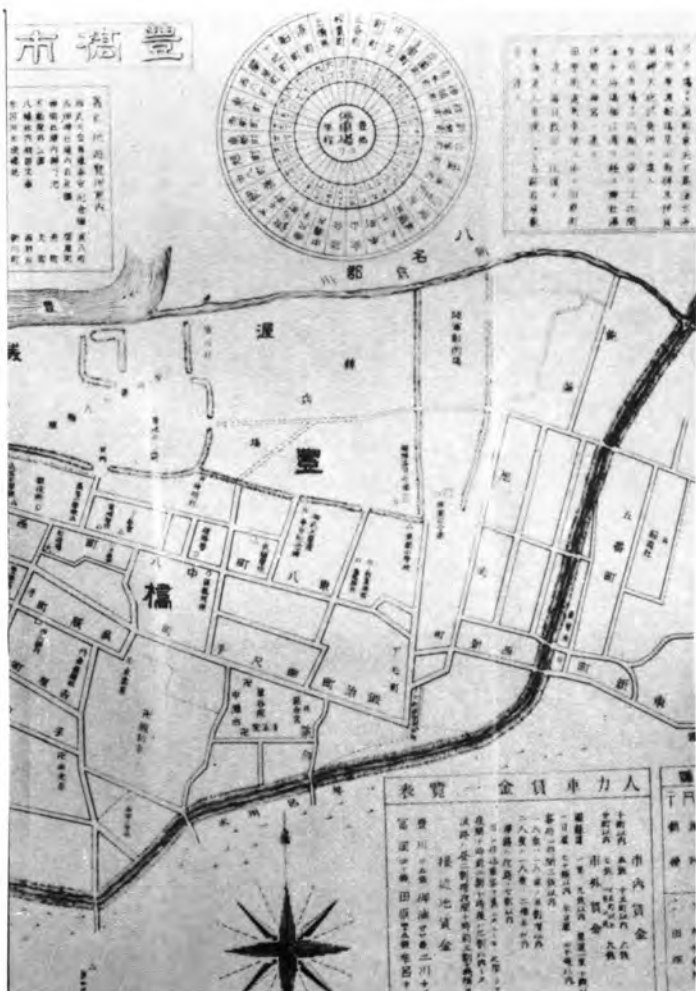
明治末期頃の豊橋駅構内



花田小学校前を流れる牟呂用水（昭48）



花田村を流れる牟呂用水



第四中学校移轉地と候補地
有志者

已記の通り豊橋有志者六十餘名は第四中...
豊橋問題に就き昨廿七日午後六時より...
全町中流古の茶谷堤に集り半鐘の...
究の結果石田村候補地を第一候補と...
區記等の点に於て是の不完全なる...
し更に完全なる候補地として東部へ...
せん事を建議する事を決議し併せて之...
が責任を期する爲め若千の委員を...
したり 因に當日本會せし重なるものハ幹事...
三郎、富田佐一郎、中野正廣、城山清、高田...
廣治、伊東精一の諸氏なりしと

●又 當現決議は基き昨二十八日午後...
七時より大字相馬神宮等に於て豊橋中...
以東十餘名の委員三十餘名が会場し當局...
者縣議員歌川國彦等各部門を分つて

第4中学校移轉地として花田村も候補地にあがる（明36・5・29 新朝報）

明治41年 (1908)

第一種より第三種にいたる校歌を制定児童に歌わせる (9・26)

各地区ごとに「母会」を聞く。

義務教育6ヶ年実施によって、先づ尋常科第5学年を編成する(4)

高等科を八町高等学校に移して花田尋常小学校と改称する(4・1)

戊申詔書換発 (10・23)

全児童761名中トラホーム患者190人

明治42年 (1909)

豊橋市狭間尋常小学校、花田町狭間に開校する (10)

豊橋市小学校連合運動会第1回を東八町練兵場で行なう (11)

学区再編成で分離すべき児童を新川・松葉・狭間に引きわたす。

市教員協会二川普門寺にマラソン (11・23)

明治43年 (1910)

二期国定教科書「ハタ・タコ・マメ」使用開始
同窓会発起人会会規則を審議し募集を始める(2)

小野湖山「誦習学舎」書者没す享年97

東宮殿下豊橋市に行啓、東八町の練兵場において市内小学校連合～尋常4年生以上の女子の桜花遊ぎを奏覧

明治44年 (1911)

花田町字大塚98-126番地に新築して移転する。1,189坪、教室200坪 (7・17)

同窓会創立総会を開く。出席83名 (4・3)

明治45年 (1912)

市役所西八町に移転。

豊橋市松山尋常小学校、花田町字松山に開校。

東海道本線・花田村を分断する



豊橋市狭間尋常小学校 (昭2)

尋常小学校(6年制)の教科目別週間教授時数

計	手工	裁縫	体育唱歌	図画	理科	地歴 日本歴史	算術	国語	修身	教科	
										学年	時数
二二			四				五	一〇	二	第一	学年
二四			四				六	二二	二	第二	学年
女男 八七		女一	三一	一			六	一四	二	第三	学年
二二 八七		女一	三一	一			六	一四	二	第四	学年
三〇 〇八		女三	三二	女男 二	二	三	四	一〇	二	第五	学年
三〇 〇八		女三	三二	女男 二	二	三	四	一〇	二	第六	学年



年度	男女	合計	經費		前年度決算	較比	本年預算	次年度預算	市町村稅	授業料	財產收入	寄附金	其他	職員給	旅費	備品費	消耗費	營繕費	其他	合計
			減	増																
昭和二十一年	115	115	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000	1,180,000
昭和二十二年	120	120	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000

土地ノ概況
 年々増々戸口増加
 手ト共ニ繁昌
 域ニ赴カシ

重要記事
 昨年末時向ノタリ
 及ニ永続事業總ニ
 不得止弄常科某一
 学三三良
 二亦教授ニ行フ成績不良

備考
 農工銀行 取捨母券 参加
 第四國債 取捨母券 参加

校地校		校舎建築		位置		設置		設置		設置		設置		設置		設置		設置		設置	
校地	校	校舎	建築	位置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置	設置
教室数	教室坪数	家屋坪数	敷地坪数	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町
1	184	276	180	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町	元町

愛知縣准長郡元町村立 元町小學校 一覽表

花田村

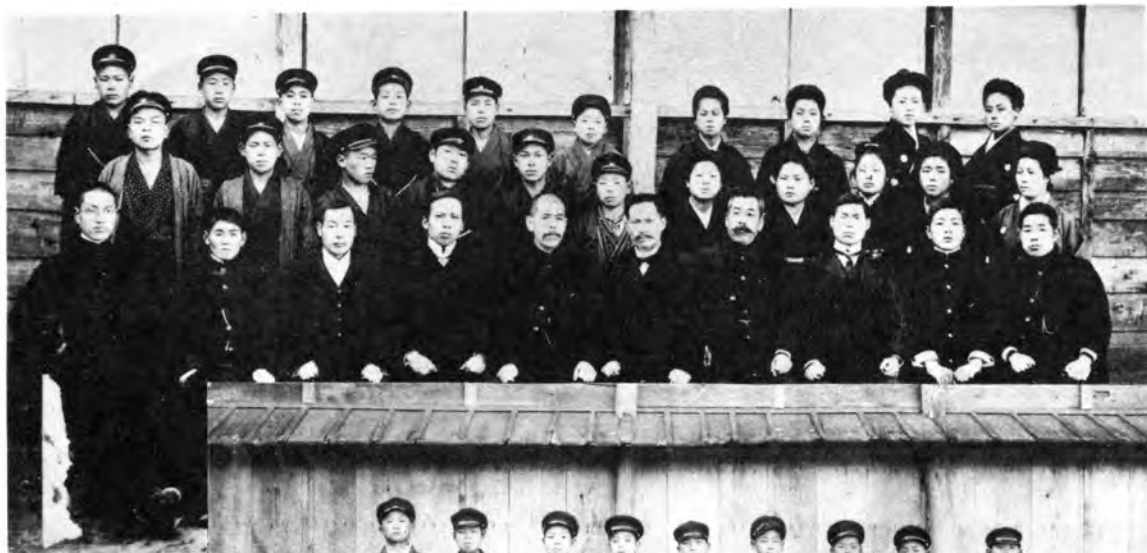
戸数 1125
 人口 2380
 男女 1180

校長 任野三代藏
 校名 平井四男

明治三十九年三月三十一日調

豊橋參陽印刷會社印行

明治の子ども



高等科3年生
(明41・3)
窓が障子ばり
になっている



高等科3年生(明43・3)



明治の体操(明41)
このごろ兵式体操が行なわれていた。

昭和の子ども(昭和47年～6年生)明治41年と
同じ場所である。



旧校歌

明治から大正へ

豊橋花田に位お我は
 進道居此、銀行や、
 倉庫のあるを幸い
 労働進明の主義取りん
 豊橋花田に住お我は
 南、北、東、西、鉄道を
 東西航さ岩川、を
 天の幸し利用せん
 豊橋花田に住お我は
 川、や鉄道利用して
 学業を厚くし
 殖産工業終わらん

杉原武雄 書

大正11年～昭和16年

1. 和学の誉れ羽田の里

今工業の栄ゆる地に
 誦習学舎の跡うけて
 立つやゆかしき花田校

2. ありし昔の学風を
 伝えて繁る我が校に
 学びの道の一筋を
 いそしむ吾等二千余

3. 小草の花の一輪に

吾等が愛を導かん
 天地を揺がす權威にも
 靡かぬ吾等二千余

4. 向上進歩撓みなく

協同一致我が国の
 光る歴史と進みゆく
 練らばや吾等二千余

5. 倒れて止まん剛健の

力を愛をためとして
 学の庭に勤しまん
 称えよ吾等二千余

(2番以降の吾等〇〇〇の数字は、その時代ごとの児童数の概数であった。)

和学の誉れ羽田の里……

ではじまる歌は、校歌として正式に制定されたものではないが、大正10、11年とスポーツで名をあげ、相撲、野球、特に陸上競技に相次いで県内各地の大会に優勝を重ね翌大正12年には、記念の大運動会が開かれた。その澁刺とした気運の中で、誰からともなく、全校生も晴れやかに歌い上げ又時に応じて応援歌となり勝利のうたともなるものが欲しいという声が高まってきた。選手を掌握していた私は嬉しさの余り一晚の間に即興的にまとめ上げた。他にふたりの先生も作詞されたが、結局私のが、その後20年間もうたい続けられることになった。校歌ならもっと練上げて重味を加えるべきであったが、軽快な行進曲風にしたので、曲も有合わせで当時よくうたわれていた一高の寮歌の曲をそのままに借用したものであった。(金田誠一)